

平成 21 年度 学術情報委員会 活動報告

・ 会議等の開催状況

- ・ 第 1 回 学術情報委員会（平成 21 年 7 月 23 日開催）
 1. 今年度の活動方針及び重点事項について
 - (1) 学術機関リポジトリに関して
 - (2) 国際 ILL (Global ILL Framework) に関して
 2. ワーキンググループの設置について
- ・ 第 2 回 学術情報委員会（平成 21 年 11 月 30 日開催）
 1. 理事会への活動報告について
 2. 学術機関リポジトリワーキンググループの活動について
 3. GIF ワーキンググループの活動について
- ・ 第 1 回 学術機関リポジトリワーキンググループ会合（平成 21 年 9 月 14 日開催）
 1. 活動方針について
 2. アンケートの実施について
- ・ 第 1 回 GIF プロジェクト, GIF ワーキンググループ合同会議（平成 21 年 10 月 23 日開催）
 1. 日米, 日韓 ILL/DD の現状について
 2. 日韓 ILL/DD マニュアルの改訂作業について
 3. NCC 3rd Decade Conference への参加について
- ・ 学術機関リポジトリに係るアンケートの実施や日韓 ILL/DD マニュアルの改訂作業等について, メール交換による担当者間の意見調整を随時行った。

・ 活動内容

1. 学術情報委員会の活動について

今年度は「機関リポジトリの普及・促進」と「ドキュメントデリバリーの国際化の推進」を中心に取り組むこととし, そのためのワーキンググループとして, それぞれ「学術機関リポジトリワーキンググループ」及び「GIF ワーキンググループ」を設置した。また, 「GIF プロジェクト」については, 前年に引き続き活動することとした。

2. 学術機関リポジトリワーキンググループの活動について

9 月 14 日開催の第 1 回会合において活動方針を決定, それにもとづき, 学術機関リポジトリに関して, 各館での実施状況と課題を把握し, 国大図協の今後の対応策を検討するため, 10 月 7 日付けで, 会員館へのアンケート「学術機関リポジトリに関する調査」を実施した。次回学術情報委員会にて速報結果を報告する予定である。

3. GIF プロジェクト, GIF ワーキンググループの活動について

- ・ 平成 21 年度 GIF プロジェクトと GIF ワーキンググループの第 1 回合同会議を 10 月 23 日に開催し, 日韓 ILL/DD マニュアルの改訂作業を開始した。

- ・平成 22 年 3 月 22-23 日に NCC の 3rd Decade Conference が予定されており、国立大学図書館協会としての派遣を検討している。
- ・ GIF プロジェクトの運用について、NII との連携のもとに、米国及び韓国の対応機関（NCC 及び KERIS）との連絡調整を行うとともに、日本側参加館及び相手国側参加館の間の ILL メッセージ交換におけるトラブル解決支援を実施した。なお、今年度における日米 ILL/DD、日韓 ILL/DD の実施状況等は以下のとおりである。

(1) 日米 ILL/DD プロジェクト

GIF プロジェクト参加状況

参加機関数は平成 21 年 10 月 27 日現在で日本側 150 図書館、米国側 76 館であり、平成 21 年 6 月から日本側が 2 大学図書館の減少、米国側 2 大学図書館の増加である。

現物貸借サービス参加状況

現物貸借サービスの参加状況は、平成 21 年 8 月 17 日現在で日本側 80 図書館、北米側 45 図書館であり、平成 21 年 6 月以降、日本側 2 図書館の減少、北米側 6 図書館の増加となっている。

日米 ILL/DD 実施状況

平成 21 年度 4 月 1 日～9 月 30 日までの日米 ILL/DD の実施状況は、表 1 のとおりである。前年同期に比べ（昨年度は 5 月分であるが）、依頼件数で 107 件増、受付件数で 380 件増である。日本側受付分の謝絶率は 67.5%である。（56.8%（17 年度） 66.7%（18 年度） 66.3%（19 年度） 73.0%（20 年度））。一方、日本側依頼文の謝絶率は 47.6%である。（45.1%（17 年度） 51.4%（18 年度） 58.6%（19 年度） 45.2%（20 年度））

表 1 日米 ILL/DD 実施状況（平成 21 年 4 月～平成 21 年 9 月）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	383	354	0	737	247	368	0	615
現物貸借	95	81	0	176	102	358	0	460
合計	478	435	0	913	349	726	0	1075

(2) 日韓 ILL/DD プロジェクト

参加状況

平成 21 年 10 月 27 日現在、日本側参加館は、110 図書館、韓国側参加館は、276 館となっている。平成 21 年 6 月以降、韓国側で 10 図書館の増加となっている。

日韓 ILL/DD 実施状況

日韓 ILL/DD は平成 16 年 11 月から暫定サービスが開始され、平成 19 年 4 月からは ISO ILL システム間リンクによる本格運用に移行している。平成 21 年度の 4 月 1 日～9 月 30 日までの日韓 ILL/DD の実施状況は、表 2 のとおりである。前年同

期に比べ（昨年度は5月分であるが）依頼件数は28件の減少、受付件数は106件の増加である。謝絶率は依頼側が35%で昨年度（68.7%）から大きく改善されている。受付側は29%で昨年度（28.3%）と同程度であるが、受付件数が依頼件数を大きく上回っている。

表2 日韓 ILL/DD 実施状況（平成21年4月～平成21年9月）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	13	7	0	20	1,046	429	0	1,475

（3）今後の課題

日韓 ILL/DD のマニュアル改訂
国際 ILL 担当者のスキルアップ

・委員構成

1．学術情報委員会

松浦 好治（名古屋大学附属図書館長）（委員長）
逸見 克亮（北海道大学附属図書館長）
山本 光朗（北海道教育大学附属図書館長）
田中 成直（筑波大学附属図書館副館長）
相原 雪乃（千葉大学情報部情報サービス課長）
茂出木 理子（お茶の水女子大学図書・情報チームリーダー）
大場 高志（一橋大学学術・図書部長）
矢田 俊文（新潟大学附属図書館長）
三根 慎二（名古屋大学附属図書館研究開発助教）
三宅 育夫（愛知教育大学情報図書課長）
米澤 誠（国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長）

（事務）

栃谷 泰文（名古屋大学附属図書館事務部長）
井上 修（名古屋大学附属図書館情報管理課長）

2．学術機関リポジトリワーキンググループ

杉田 福夫（北海道大学附属図書館学術システム課長）
斎藤 未夏（筑波大学附属図書館情報管理課専門職員）
守本 瞬（金沢大学情報部情報企画課情報企画係長）
古田 紀子（愛知教育大学情報図書課情報サービス係主任）
栃谷 泰文（名古屋大学附属図書館事務部長）（主査）
次良丸 章（名古屋大学附属図書館情報システム課課長補佐）（事務局）

3．GIF プロジェクト担当

大場 高志（一橋大学学術・図書部長）（主査）

相原 雪乃 (千葉大学情報部情報サービス課長)
茂出木 理子 (お茶の水女子大学図書・情報チームリーダー)
井上 修 (名古屋大学附属図書館情報管理課長)

4 . GIF ワーキンググループ

東 朋子 (北海道大学附属図書館利用支援課相互利用担当)
園部 明子 (筑波大学附属図書館情報管理課図書購入係)
伊藤 美和 (金沢大学情報部情報サービス課相互利用係)
餌取 直子 (お茶の水女子大学図書・情報チーム情報サービス係)
谷山 秀幸 (一橋大学学術・図書部学術情報課レファレンス係)
森 恭子 (東京大学理学部物理学図書室)
工藤 絵理子 (九州大学附属図書館利用支援課文献流通サービス係)